

再処理企業協議会

かわら版

さいくる

2023年5月
第50号



構内作業に従事されている皆さまへ、あなたも“再処理企業協議会”の会員です！

新緑から、みなぎる生命力を感じる季節となりました。森林浴でもしてみませんか？

2023年度 新年度再処理企業協議会の新メンバーを紹介致します

役員



会長
藤本 博之
(三菱重工業)



副会長
四方山 敏彦
(ジェイテック)



副会長
津田 実
(東北発電工業)



専務理事
鈴木 克彦
(日本原燃)

技術研修部会



部会長
大久保 敏
(六ヶ所再処理研究所)



副部会長
小野 貴浩
(ジェイテック)

広報部会



部会長
今西 啓二
(新菱冷熱工業)



副部会長
川久保 敬
(再処理機器)

監事：日揮
監事：日本原燃分析
理事：日立GEニュークリア・エナジー
理事：IHI
理事：東芝エネルギーシステムズ
理事：アトックス
理事：東京エネシス
理事：六ヶ所エンジニアリング
理事：青森クリエイト

挿摩 司
宮崎 孝
中六角 浩光
難波 健太郎
中久木 功
安達 克弘
荒川 裕
鶴ヶ崎 光男
吉田 裕悦

特別会員総会



地域情報

高山稲荷神社

今、青森県のインスタ映えのするパワースポットといえば、高山稲荷神社(つがる市牛瀧町)です。高山稲荷神社は、五穀豊穰、海上安全、商売繁盛の神様として青森県第一の霊験あらたかな神社です。梅雨の時期には水盤に紫陽花が浮かんでおり、とても優雅で、美しく、艶やかです。また、異世界のような不思議な空間を創出している朱色の千本鳥居は、とてもインパクトがあり一見の価値があります。一度、家族、カップルで足を運びリフレッシュしてはいかがでしょうか。



項目	内容
開花日	4月7日
満開日	4月22日
見頃	4月14日～4月22日
アクセス	つがる市牛瀧町

今月の担当者



池田



宮田

2023年(令和4年)05月31日発行
再処理企業協議会 広報部会
〒039-3212 青森県上北郡六ヶ所村大字尾駸字弥栄平1-5
再処理企業センターB棟
TEL (0175)71-2487 FAX (0175)73-2075
URL <https://www.saisyori-kigyogyokai.jp/>



会社の紹介

～今回は株式会社 上組の紹介です～

上組は 神戸港開港(慶応3年)に創業し、日本の港関連業務を中心に歩んできました。

港での荷下ろしや貨物運搬から始まった当社は、倉庫保管、陸上輸送、重量物運搬など徐々に活動を広げ現在では コンテナターミナルの運営やお客様の物流アウトソーシング、海外での現地物流などに新しい物流の創造に取り組んでいます。

六ヶ所事業所は重量物運搬分野から発展した原子力発電所の使用済燃料輸送・新燃料輸送・原子原料輸送・低レベル放射性廃棄物輸送などを手掛けていたことから六ヶ所で業務を行っています。

では皆さんとのかかわりとなりますと、前述の発電関連業務のほか、オレンジ・レモン・バナナ等の青果物、様々な食品、家畜飼料、高級自動車の輸入保管出荷等で皆さんの生活に関与しています。

青森県ですと八戸市に飼料用倉庫がありますし、発電所の建設工事、風力発電部材の海外からの海上輸送はほぼ当社が行っています。これからも物流に様々な工夫を凝らし皆様の生活にお役に立ちたく挑戦してまいります。

株式会社 上組

KAMIGUMI



青果物

青果物には様々な種類があり、輸送・保管・加工・出荷の各工程において、最適な物流ソリューションを提供しています。また、お客様のニーズに合わせて、最適な物流ソリューションを提供しています。

重量貨物

重量貨物の輸送には、専用のトラックや船舶を使用しています。また、お客様のニーズに合わせて、最適な物流ソリューションを提供しています。



お知らせイベント

- 6月17日(土)：2023年度再処理企業協議会杯ゴルフ大会
- 6月21日(水)：労働安全教育
- 7月12日(水)：再処理構内見学会

編集後記

今年の弘前公園内のソメイヨシノの開花は4月7日であり、昨年、一昨年の4月14日より7日早く、平年開花基準とされている4月22日より半月程早い開花となっております。

関東地方のソメイヨシノの満開時期も1980年代は4月8日だったものが2000年代以降は3月30日になっており、“満開の桜の下での入学式”が“卒業式の桜”といえる状況に変わってきているとのこと。

地球温暖化の影響としては、氷河の融解や海面水位の変化、洪水や干ばつといった事象が報じられておりますが、日本の春の象徴である桜の開花の変化など、目に見えるところにも出てきています。

政府は“2050年カーボンニュートラル社会実現”の方針を出すとともに、新型コロナウイルス感染症流行からの経済復興においても、持続可能で脱炭素な方向への復興を重視しており、環境対策はもはや経済成長の源泉となっております。

環境対策と我国の経済成長に対し、私たちにできることは、核燃料サイクルの確立に向け、一丸となって再処理工場の竣工・運転を実現することであると考えます。ともに頑張りましょう！